

# ■ 指定管理者制度導入施設 年度評価シート ■

評価年度

令和4年度

## 1 基本情報

公の施設名	相模原市立男女共同参画推進センター(ソレイユさがみ)
指定管理者名	特定非営利活動法人男女共同参画さがみはら
指定期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日
施設設置条例	相模原市立男女共同参画推進センター条例
施設の設置目的	女性を取り巻く諸問題の解決及び男女共同参画社会の実現を図るため (相模原市立男女共同参画推進センター条例第2条)
施設概要	(1)所在地 相模原市緑区橋本6-2-1(シティ・プラザはしもと内) (2)施設規模 シティ・プラザはしもと 5,090㎡のうち、男女共同参画推進センター 1,509㎡ (3)主な施設 セミナールーム1～6、情報コーナー、であいの広場等
施設所管課	市民局 人権・男女共同参画課

## 2 管理実績

項目(単位)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
利用者数合計(人)	83,884	81,265	69,903	20,132	54,522	43,003	
使用料合計(円)	9,033,817	8,759,535	7,630,108	3,393,137	6,256,345	7,077,955	
貸館率(%)	77.0	75.9	74.3	51.2	63.5	65.7	
講座等参加者数(人)	13,171	12,646	10,608	669	3,628	4,028	

### 3 成果指標の達成度

評価（5評価）	評価理由・委員会意見
<b>B</b>	貸館率は目標値に達せず、講座等参加者の男女共同参画意識の高揚に繋がったと考える人の割合は目標値を上回っているものの、昨年度より4ポイント低下したため、施設の設置目的である「女性を取り巻く諸問題の解決及び男女共同参画社会の実現」に向けた取組を進めてはいるが、「B」と評価した。

<b>指標 1</b>	
指標名（単位）	施設の貸館率（%）
指標式と指標の説明	(1)指標式：施設の利用回数／施設の利用可能回数×100 (2)指標の説明：当該施設の活用が十分図られているかを見る指標

項目（単位）	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値（%）	77.0	78.0	78.0	78.0	78.0	78.0	78.0
実績値（%）	77.0	75.9	74.3	51.2	63.5	65.7	
達成度（%）	100.0%	97.3%	95.3%	65.6%	81.4%	84.2%	0.0%

<b>指標 2</b>	
指標名（単位）	男女共同参画意識の高揚に繋がったと考える人の割合（%）
指標式と指標の説明	(1)指標式：講座等の参加者アンケートにおいて、以下のすべての質問に肯定的な回答をした人数／アンケートの総回答人数×100 ・講座等に参加して、男女共同参画に関する理解が深まったか （⇒「大変深まった」もしくは「深まった」と回答した人数） ・講座等で得たことを、家庭・職場・地域等で活かそうと思ったか （⇒「はい」と回答した人数） (2)指標の説明：講座等参加者における男女共同参画意識の高揚及び家庭・職場・地域等への男女共同参画の推進を見る指標。

項目（単位）	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値（%）	—	—	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0
実績値（%）	—	—	74.5	80.8	83.7	79.7	
達成度（%）	—	—	106.4%	115.4%	119.6%	113.9%	0.0%

#### 4 事業の実施状況

評価 (5評価)	評価理由・委員会意見
A	<p>通年で実施している講座、講演会等や市が定める男女共同参画推進週間に関連した事業について、適切な本数を実施するとともに、自主事業において女性作家の活躍の場を多く提供できたこと、インターンシップ実習生を積極的に受け入れ、若年層の意見を取り入れながら事業の企画を行ったことは評価できる。また、市民企画セミナーや相談支援を実施し、男女共同参画社会の実現を目指したセミナー・講演会等の企画・実施を希望する団体やグループに対し、運営支援ができたことも評価できるため、「A」と評価した。</p> <p>一方で、令和3年度に引き続き、登録団体連絡会が開催できていないため、オンライン開催等コロナ禍においても開催できる方法を検討する必要がある。</p>

#### 市が指定する事業

主な事業名	実施時期	内容・回数・参加者・効果等	評価
(なし)			

#### 企画提案事業

主な事業名	実施時期	内容・回数・参加者・効果等	評価
男女共同参画の普及啓発のための講座、講演会等の企画	通年	<p>「第3次さがみはら男女共同参画プラン」に基づき、性別にかかわらず、すべての個人が互いに人権を尊重し、その個性と能力を十分に発揮することができる男女共同参画社会の実現を目指し、講座等の企画・運営を行った。また、大学生3名のインターンシップ実習生を合計22日間受け入れ、次年度の事業実施や企画展示について、若者視点のアイデアを取り入れた企画をともにに行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■実施事業数:51本</li> <li>■講座等回数:145回(うち、5回は対面・オンラインのハイブリッド形式で実施)</li> <li>■総参加者数:4,031人</li> <li>■参加率:71.8%</li> <li>■男女共同参画意識の高揚に繋がったと考えられる人の割合:79.7%</li> </ul>	◎
市が定める男女共同参画推進週間に関連した、男女共同参画意識の普及高揚を図ることを目的とした事業	6月18日(土)～ 6月26日(日)	<p>多くの市民が男女共同参画について考える機会となるように、またソレイユさがみを広く周知するため、市が定めるさがみはら男女共同参画推進週間(6月18日～29日)に合わせてソレイユフェスタを開催し、パネルディスカッションやセミナー、パネル展示などを行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■実施事業数:9本 (うち3本は前年度のインターンシップ実習生企画)</li> <li>■講座等回数:10回</li> <li>■総参加者数:522人</li> <li>■参加率:82.4%</li> <li>■男女共同参画意識の高揚に繋がったと考えられる人の割合:67.4%</li> </ul>	○
であいの広場におけるパネル展示	通年	<p>暮らしや社会に潜むジェンダーに関する問題を取り上げたパネル展示を通して、広く男女共同参画社会の実現への啓発を行った。</p> <p>またパネル展示「家庭でも子どもと性的話始めませんか」等をテーマとした啓発展示や「ヤングケアラーって？」等をテーマとした気づきのコーナー、DVD上映等を行い市民の男女共同参画に関する「気づき」を促した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■パネル展示:3回(6月・1月・2月)</li> <li>■気づきのコーナー啓発展示:2回(6月・1月)</li> <li>■DVD上映:月3本</li> </ul>	○
その他男女共同参画に係る各種情報の収集と提供	通年	<p>ソレイユさがみの活動内容や男女共同参画に関する啓発情報を発信するとともに、ブックレビューを発行し、新着図書やおすすめ図書の紹介を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■情報コーナーの利用:蔵書数 6,895冊、利用者数 907人</li> <li>■ホームページでの発信</li> <li>■ソレイユニュースレターの発行(1,000部×4回)</li> <li>■ソレイユブックレビューの発行(850部×6回)</li> <li>■ソレイユブックレビュー桜美林大学学生号の発行(800部×1回)</li> <li>■情報コーナー企画展示:5回(4月・7月・11月・2月・3月)</li> </ul>	○

市民企画セミナーの開催	通年	男女共同参画社会の実現を目指したセミナー・講演会等の企画、実施を希望する団体やグループに講師謝金を助成するとともに、会場の提供や運営支援を行った。 ■市民企画セミナー実施:4団体(7回) ■市民企画セミナー相談支援 9回	○
-------------	----	--	---

### 自主事業

主な事業名	実施時期	内容・回数・参加者・効果等	評価
ソレイユゆめひろば プチマルシェ	展示:通年 販売:毎月1回(6月は2回)	女性の起業家支援事業として、であいの広場に設置した展示棚を貸し出し、ハンドメイド作品の展示の場を提供するとともに、プチマルシェを毎月1回開催し、販売やワークショップの場を提供した。 ■出店者:延べ201店舗(すべて女性) ■総参加者数:1,971人(女性1,921人、男性50人) ■プチマルシェからの循環型サポート事業 ・プチマルシェワークショップ(6回開催) マルシェに6回以上出店実績のある作家が講師となり、市民向けにワークショップを行う事業で、企画から開催まで職員がノウハウを支援した。 ・地域×ハンドメイド作家紹介 ワークショップ開催実績のある作家を、公民館に講師として活用していただくよう、チラシ等で地域へ紹介し、活躍の場を拡大した。	○

## 5 利用者の満足度

評価 (5評価)	評価理由・委員会意見
<b>A</b>	講座等参加者の満足度について、目標値を上回っているため、「A」と評価した。 また、誰でも意見投稿ができる「お客様の声」、セミナールーム等特定の施設を利用された方に必ず記入を求める「利用記録用紙」を用いて、利用者ニーズ等の積極的な把握に努めたほか、ホームページ上の「お問合せフォーム」により受付けた問い合わせに対して、迅速に返信し利用者の理解を深めていることは、評価できる。

### 利用者満足度調査

調査手法/サンプル数	講座等の参加者に対してアンケート調査を実施 / 時期:通年 / サンプル数:817件(講師に関する設問のみ718件)
目標値の基準	講座等に対する全体評価、スタッフ対応、講師、環境について尋ねる各設問において、「大変満足」及び「満足」の割合の平均:90%以上

項目 (単位)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値 (%)	—	—	90	90	90	90	90
実績値 (%)	95.4	93.6	93.8	94.3	94.7	94.4	
達成度 (%)	104.9%	103.0%	104.2%	104.8%	105.2%	104.9%	0.0%

### その他の取組

取組事項	時期	取組内容
お客様の声	通年	正面入り口前に回収箱を設置し、センター利用に係る意見・感想を求めるとともに、寄せられた意見等に対する回答や対応状況を掲出し、利用者に周知した。
利用記録用紙	通年	セミナールームやであいの広場利用者に対し、利用内容、利用人数等のほか、施設への意見や要望等を記載していただき、運営管理に役立てた。
ホームページ投稿通知メールフォーム	通年	「お問い合わせフォーム」により受付けた貸館や事業等についての問い合わせに対して、迅速に返信し利用者の理解を深めた。

## 6 施設の経営状況

評価（5評価）	評価理由・委員会意見
<b>A</b>	施設の収支については、本体事業収支、全体収支ともに黒字である。 団体の経営状況については、黒字ではあるものの、前々年度の繰越金を取り崩しており、継続的な減益かの判断ができない。また、負債はないが財政規模が小さく、財政状態が万全であるとは言い難いため、経営状況に若干の懸念がある。以上のことから、全体的には「A」評価とする。

施設の収支概要		※直近3年間について記載			(千円)
項目		令和2年度	令和3年度	令和4年度	
収入 (a)		27,873	32,026	27,801	
	指定管理料	17,870	17,870	17,870	
	利用料金収入	3,393	6,256	7,078	
	その他の収入	6,610	7,900	2,853	
支出 (b)		25,627	28,404	26,354	
	人件費	20,974	21,333	21,797	
	本社管理経費	0	0	0	
	その他の支出	4,653	7,071	4,557	
本体事業収支 【(a)-(b)】(c)		2,246	3,622	1,447	
自主事業収入 (d)		0	100	138	
自主事業支出 (e)		0	30	39	
自主事業収支 【(d)-(e)】(f)		0	70	99	
全体収支 【(c)+(f)】		2,246	3,692	1,546	
備考					

団体の財務状況	団体本体の経営状況について若干の懸念がある。
---------	------------------------

## 7 管理業務の履行状況

検査方法	市チェックシートに基づき、指定管理者へのヒアリング及び現地確認により検査を実施した。
実施時期	令和5年2月28日

検査項目	確認結果	備考
管理業務	適正に実施	
危機管理	適正に実施	
人員配置・地元活用	適正に実施	
現金管理	適正に実施	
会計・経理	適正に実施	
情報セキュリティ	適正に実施	
情報公開・個人情報保護	適正に実施	
市への報告事項・事前承認等	適正に実施	
加点事由	具体的内容	

## 8 ウェブアクセシビリティ

ホームページの作成	有
-----------	---

ウェブアクセシビリティの取組項目	取組状況
機種依存文字を使っていない。	○
ページ内の文字の大きさを変えることができる。	○
単語の途中にスペースや改行を入れていない。	○
ページ内容を的確に表しているタイトルが付いている。	○
ダウンロードできるファイルには、ファイルの種類とサイズを記載している。	×
画像には、代替テキスト等を付与し、支援技術利用者にも適切な代替情報を提供している。	×
背景色と文字色にコントラストを確保するなど、色使いに配慮している。	○
その他取り組んでいること	

## 9 指定管理者の自己評価

成果指標である施設の貸館率は目標を達成できなかったものの、徐々に利用者が増えてきました。また、男女共同参画意識の高揚に繋がったと考える人の割合は目標値を達成しています。利用者満足度についても引き続き高い評価を得ることができ、講師については96.4%と高い評価でありましたが、環境についての項目が91.1%との評価であり、冷暖房の室温や会場の照明についてが主なマイナス要因になっています。講座については、市民ニーズにあったものを多数開催できたと考えており、特にソレイユフェスタでは、前年度のインターンシップ実習生による企画事業として、性教育をテーマにしたいきいきフォーラムや、アンコンシャス・バイアスを考えるワールドカフェなど、若者視点での事業を開催することができました。市民企画講座については4団体から応募があり、7回開催しました。また、プチマルシェ出店の作家が講師となり、市民向けワークショップを6回開催できたことなどから、管理運営コンセプトとした「ゲストからスタッフへ・参加から参画へ」の取り組みができたと考えておりません。

## 10 所管課意見

年間を通して様々な講座等を開催した結果、男女共同参画意識の高揚に繋がったと考える人の割合が目標の70%を上回り、また、施設も通常開館できたことにより、貸館率も前年度より2.2ポイント上昇したことは、施設の設置目的である「女性を取り巻く諸問題の解決及び男女共同参画社会の実現」に大きく寄与する取組結果であり、評価できる。また、インターンシップ実習生による企画を、ソレイユフェスタで複数開催し、若年層の意見を取り入れながら事業の企画を行ったことや、市民が企画する男女共同参画セミナーを実施及び実施に向けた相談支援を行ったことについても評価できる。

上記の理由に加え、引き続き高い利用者満足度を維持していることから、施設運営は適切に行われているものと評価するが、施設ホームページのウェブアクセシビリティに関する取組については、一部未実施であるため、改善に向けた取組を進めていただきたい。

一部講座を対面とオンラインのハイブリッド形式で開催することにより、来館せずとも講座を受講できるようにしたことは、より多くの市民に市内の男女共同参画の活動拠点として、より効果的な事業実施や質の高い施設運営につながるため、今後も社会状況に即した積極的な取組を期待する。

## 11 選考委員会意見

事業内容は、世の中の動向を踏まえ、変化も取り入れた様々な事業を展開しているので評価できる。今後、登録団体の高齢化などによる利用者の減少が生じる恐れがあり、利用者促進策を早急に考える必要がある。例えば、市内に所在する大学へ広報活動を行い、センターを利用してもらうことにより、若者の利用促進及び利用率の増加が見込めるのではないかとと思う。

指定管理者の経営状況について、指定管理料に依存しており、今後、独自に収益を得られるような事業を検討していただきたい。また、施設の経営状況については、前期の施設収支は黒字となっているが、前々期の繰越金を取り崩しており、財政状態が万全であるとは言い難い。資産規模が小さいため、今後も継続的に確認が必要と考える。

利用者の満足度は目標値を超えており評価できるが、アンケート収集方法や、お客様の声の収集方法について工夫し、事業へ反映するとともに、引き続き男女共同参画の推進拠点としての独自性を高め、男女共同参画社会の実現に向けて各種事業を展開していくことを期待する。

### 総合評価（自動判定）

